

Secure Cloud and Virtual Reality

2021年9月期
2Q決算補足資料

2021年5月14日



株式会社ピー・ビーシステムズ

(証券コード : 4447)

2Q決算トピック

2Q営業利益は計画値超過！

- 売上高は計画に若干届かずも収益性が向上、
営業利益・経常利益は計画を上回る！

→(Focus)四半期別の2Q営業利益では、
前期四半期別営業利益を全て上回る実績
- SCLの受注も回復、受注残は前期並水準に！
- SCL・EMOともDXをキーワードに戦略を推進し、
最高益更新を目指す！

2Q業績ハイライト

(百万円)

| | 今期2021/9 実績 | | | | 今期2021/9計画 2Q進捗 | | | 前期 2020/9実績 | | 前年同期比 | |
|----------------|----------------|------|------|--------|--------------------|------|--------|----------------|--------|-------|--------|
| | 1Q単独 | 2Q単独 | 2Q累計 | 構成比 | 進捗計画 | 増減 | 増減率 | 2Q累計 | 構成比 | 増減 | 増減率 |
| 売上高 | 401 | 555 | 957 | 100.0% | 1,064 | ▲106 | ▲10.0% | 1,206 | 100.0% | ▲249 | ▲20.6% |
| 売上総利益 | 106 | 188 | 295 | 30.9% | 304 | ▲8 | ▲2.8% | 336 | 27.9% | ▲40 | ▲12.1% |
| 販売費及び 一般管理費 | 103 | 95 | 199 | 20.8% | 214 | ▲15 | ▲7.0% | 201 | 16.7% | ▲2 | ▲1.0% |
| 営業利益 | 3 | 93 | 96 | 10.1% | 90 | 6 | 7.4% | 135 | 11.2% | ▲38 | ▲28.6% |
| 経常利益 | 2 | 93 | 96 | 10.1% | 89 | 7 | 8.2% | 134 | 11.2% | ▲38 | ▲28.3% |
| 純利益 | 10 | 69 | 79 | 8.3% | 72 | 6 | 9.4% | 107 | 8.9% | ▲27 | ▲25.7% |

ポートフォリオを拡充したレジリエンス構築などSCLの高付加価値ビジネスが利益増加に貢献した結果、

営業利益、経常利益、純利益は進捗計画を超え着地

前年同期比では売上高79.4%、営業利益71.4%の水準まで回復

2Q実績(セグメント別)

セキュアクラウドシステム事業

レジリエンスビジネスが本格化

- ・ 新規コンペ案件の失注があり、売上高は計画に若干届かず
- ・ 1Qにポートフォリオを拡充したレジリエンスビジネスが、営業利益増加に貢献
- ・ 中堅企業の2025年の崖対策、DX実現に向け、クラウド移行、ハイパーコンバースドインフラなどの付加価値の高いクラウド基盤構築案件を確保
- ・ 深い信頼関係を構築している複数の優良顧客からのシステム刷新案件を着実に売上
- ・ SaaS事業者向けのクラウド基盤構築案件は更なる拡張へ
- ・ 1月からの社内体制変更による原価管理の強化が奏功し原価率低減

(百万円)

| | 2021/9 2Q | 2020/9 2Q | 前年同期比 | |
|-----------|--------------|--------------|-------|--------|
| | | | 増減 | 伸び率 |
| 売上高 | 952 | 1,169 | ▲217 | ▲18.6% |
| セグメント損益 ※ | 122 | 156 | ▲33 | ▲21.4% |

エモーショナルシステム事業

防災・産業分野の開拓に向け営業活動継続中

- ・ 依然として低迷続くが、TV放送等への4DOH露出を起点に、防災用途へのニーズの再燃や、産業分野の引き合いが発生

(百万円)

| | 2021/9 2Q | 2020/9 2Q | 前年同期比 | |
|-----------|--------------|--------------|-------|--------|
| | | | 増減 | 伸び率 |
| 売上高 | 5 | 37 | ▲31 | ▲84.7% |
| セグメント損益 ※ | ▲26 | ▲20 | ▲5 | - |

※実態をわかりやすく表現するために、2020年9月期3Qの決算補足資料より参考数値として全社費用配賦後のセグメント損益を記載するように変更
(全社費用を各セグメントの人員割合で配賦)

2Q受注残

セキュアクラウド事業は前年水準に肉薄、受注回復！

(百万円)

| | 2021/9 2Q | 2021/9 1Q | 2021/9 1Q差 | 2020/9 2Q | 前年同期差 | 前年同期比 |
|----------------|--------------|--------------|---------------|--------------|-------|-------|
| セキュアクラウドシステム事業 | 420 | 361 | 58 | 438 | ▲18 | 95.9% |
| エモーショナルシステム事業 | 0 | 1 | ▲1 | 0 | 0 | 21.4% |
| 合計 | 420 | 363 | 57 | 439 | ▲18 | 95.8% |

セキュアクラウドシステム事業

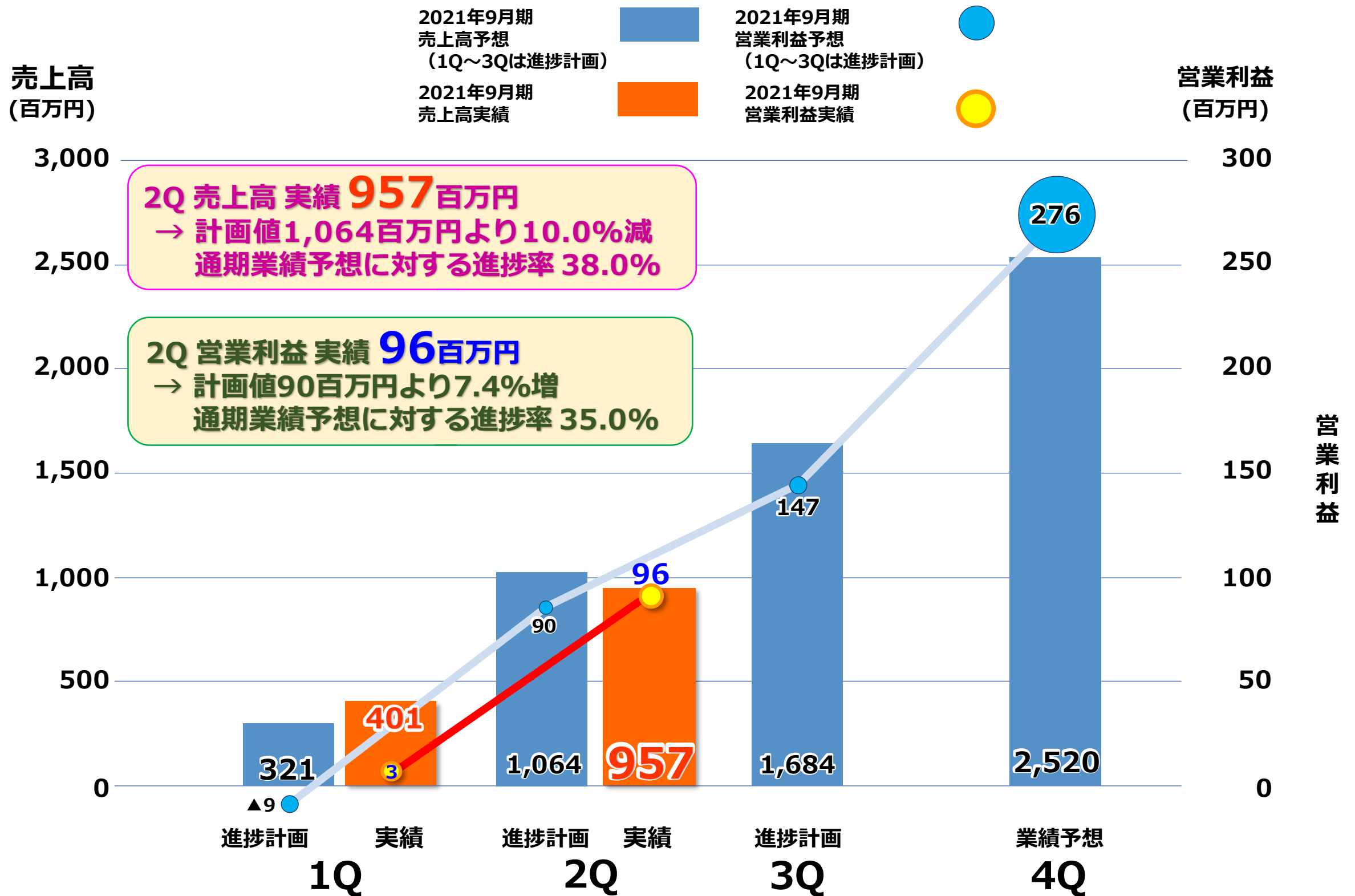
2Q受注残高は420百万円、1Qより更に**58百万円増加**し、前年同期比**95.9%**と、前年同期並の水準に

コロナ禍に好調な業種の顧客、DX推進に向けたクラウド投資再開が、好調な受注に貢献
SaaS事業者の需要拡大に伴うクラウド基盤の拡張及び刷新案件、中堅企業の2025年の崖克服に向けたシステム更新案件等を獲得

エモーショナルシステム事業

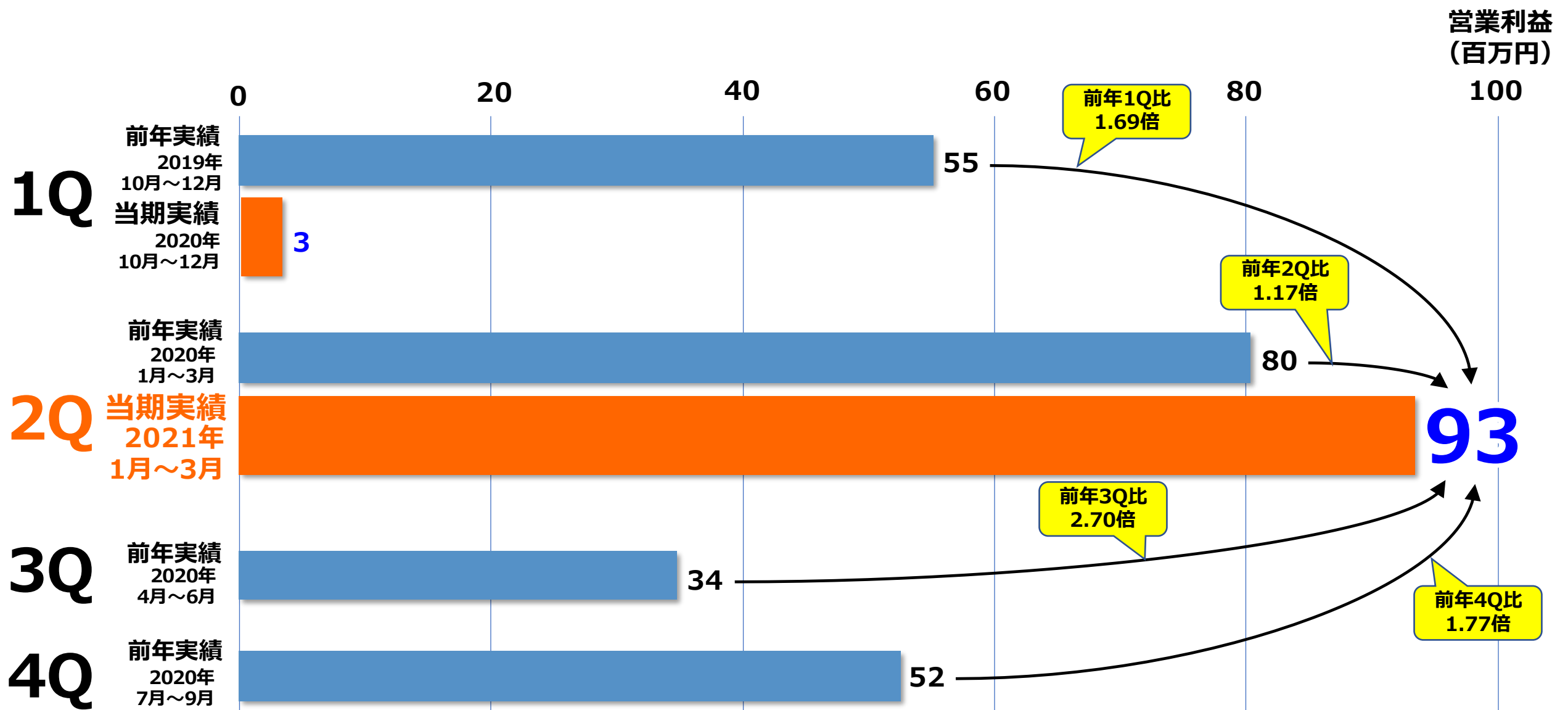
産業分野への「動画・映像プレゼンス高まり」に対応した360度映像を利用したDX推進需要に軸足を移した営業活動を推進中

今期業績予想(計画)と進捗率



(Focus) 四半期別 2Q 営業利益

2Q単独(1月~3月)の営業利益 **93百万円** は、
前期四半期別の実績を**全て上回る水準に**



今後の重点戦略

DXをキーワードに戦略を推進、連続最高益更新を目指す！

セキュアクラウドシステム事業

1) DXビジネスの推進

- ・東京営業部の拡充による首都圏DXとクラウド構築需要の獲得
→多数のパートナーとの協業の強化
Citrix社、アセンテック社、Oracle社等に加えて、協業企業の拡大を図る
- ・DX推進タスクフォースの立上げ、自治体向け提案強化
→地場優良企業や自治体への“デジタルワーク推進からのDX実現”を旗印に営業活動強化

2) レジリエンスビジネス推進

- ・多発するランサムウェア感染に対する防御と回復の仕組みづくり
→DELL Technologies社のDP4400拡販と実装によるレジリエンス提案の推進

3) SaaS事業者向けのハイブリッドクラウド化の推進

- ・パブリッククラウドに依存したSaaS事業者に対する、
ハイブリッドクラウド化による競争力強化！
→サービス停止時間最小化、ユーザー満足度向上をもたらしながら、
SaaS事業者のコスト構造変革を実現する！

四半世紀のプライベートクラウド構築実績を誇る、

当社だからこそ可能な新サービス！！

免責事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。

これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招来し得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

本資料の作成に当たり、当社は当社が入手可能な情報の正確性や完全性に依拠し、前提としていますが、その正確性あるいは完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。

また、発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれている場合がありますが、これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社として、その達成を約束するものではありません。

当該予想と実際の業績の間には、経済状況の変化や顧客のニーズ及びユーザーの嗜好の変化、他社との競合、法規制の変更等、今後のさまざまな要因によって、大きく差異が発生する可能性があります。

また、本資料発表以降、新しい情報や将来の出来事等があった場合において、当社は本資料に含まれる将来に関するいかなる情報についても、更新又は改訂を行う義務を負うものではありません。

本資料に関するお問い合わせ先

〒812-0007 福岡市博多区東比恵3-3-24
株式会社ピー・ビーシステムズ
経営企画部 IR担当
TEL 092-481-5669
MAIL ir@pbsystems.co.jp
URL <https://www.pbsystems.co.jp>